

# 2024 年度 美浜区 3 年生大会 決勝結果・戦評

優勝:FC アローズ ネイビー



準優勝:バディーSC・サックス  
第3位:GINGA、千葉 SC

第 22 回 千葉市美浜区サッカー大会 3 年生以下の部 決勝

日時:2024 年 11 月 24 日(日) 11:45 KO

会場:稲毛海浜公園

試合方法:30 分 (15 分-5 分-15 分)

気象状況:晴れ 気温:15 度 風速:2m

ピッチ状況:芝・良好

バディーSC・サックス 1 - 4 FC アローズ ネイビー  
(前半) 0 - 3  
(後半) 1 - 1

## <戦評>

前日の予選リーグで吹いていた冷たい風も止み、穏やかな気候と緑の芝生。最高のピッチコンディションで迎えた決勝戦は、ここまで予選・決勝リーグとも無敗で勝ち上がってきた 2 チームの対決となった。

アローズのキックオフで試合開始。

開始 1 分、早速バディーがチャンスを迎える。右サイドからパスをつないで中央の 6 番今井選手が右足でシュート。逆サイドに狙いすましたシュートは惜しくもゴール左に外れる。

2 分、バディーが左からのコーナーキックで鋭いボールをゴール前に上げるが、ディフェンスがブロック。この時、ブロックした 7 番加野選手のお腹にボールが入り負傷したため、レフリーが一度試合を中断。同選手は一旦ピッチを出て、バディーのドロップボールで試合再開となったが、加野選手は交代することなくすぐにピッチに復帰し、この試合にかける強い思いが感じられた。

立ち上がりはバディーがボールを拾ってつなぐ展開でペースをつかみ、5 分には 2 番新井選手がペナルティーエリアの外からミドルシュートを放つが、これはキーパーの正面へ飛んだ。

一方、アローズは 6 分、中盤でキープしたボールを左へ展開。スペースへ出たボールに対して一瞬のスキをつけて 12 番乾選手が鋭い抜け出しとスピードでキーパーと一対一の局面を作る。キーパー白川選手が好判断で飛び出し、シュートを体に当てる。さらにこぼれ球を拾った乾選手が再びシュートを放つが、今度はディフェンスが体を張ってコーナーキックへ逃れた。キーパーが飛び出していたが、すばらしいカバーリングでピンチを防いだ。

7分、アローズは自陣でうまく相手のドリブルをカットし、前線へフィードしカウンター。乾選手がスピードに乗ったドリブルでディフェンスを1人2人と抜いてそのままシュート。一旦はキーパーにはじかれたが、ゴール前まで詰めていた11番木村選手がゴールへ蹴りにみ先制点を奪う。

反撃に出たいバディーは再び中央と左サイドからパスとドリブルでしっかりと組み立ててシュートを狙う。アローズも必死のディフェンスで相手の前に立ちはだかり簡単にシュートを打たせない。

11分、アローズフォワードの木村選手が自陣左サイドのスペースに落ちてボールをキープ。ここからスピードに乗ったドリブルで一気に相手3人を交わしてゴール前まで運ぶ。キーパーの前で、シザースでフェイントを入れると中央に走りこんできた12番乾選手へ絶妙なパス。これをしっかりと乾選手が決め、差を2点に広げる。木村選手は自陣から約40メートルをトップスピードで持ち上がり、なおかつゴール前では冷静さと視野の広さとアイデアを見せたすばらしいアシストだった。

続いて14分、再びアローズに得点生まれる。相手のクリアボールを左サイドバックの9番重川選手が鋭い読みと出足でボールを奪うと、相手と競り合いながらも体をうまく前に入れて前線の木村選手へパス。キーパーと1対1になった木村選手が冷静に流し込み3点目を奪う。

対するバディーはミッドフィルダーの新井選手が中心となり、高い足元の技術でドリブルをしかけたり、左右へボールをさばき組み立てていく。14分、中央で受けたバディー6番今井選手がコースを狙って左足でシュートを放つが、キーパーダハル選手の手にあたりコーナーキックへ。このコーナーキックをキーパーがキャッチし、ここで前半終了。

後半はバディーのキックオフ。立ち上がりは両チームとも一進一退の攻防が続き、決定機まで持ち込めない。

19分、後半最初のチャンスを迎えたのはアローズ。左サイドから中央でボールを受けた5番恩田選手がペナルティエリアまで持ち込み鋭いシュート。これはポジション取りの良かったキーパー白川選手がきっちりと正面でキャッチ。

一方、バディーは何度もタテにボールを入れて相手ディフェンスのスキをうかがう。そして22分についてこの攻撃が実を結ぶ。前線に残っていた新井選手がペナルティエリア手前で後方からボールを受けると、ワンタッチで反転して前を向きそのままシュート。全身を使って体重を乗せた鋭いシュートはキーパーの手をかすめ、ゴール左上へ吸い込まれた。ターンしながらのトラップ、トラップしたボールを置く位置、シュートまでの流れるようなプレーは新井選手の技術の高さが詰まったゴールだった。また、得点を挙げた選手はボールを拾いセンタースポットへ急いで戻り、あきらめない気持ちの強さが感じられた。

このまま一気にたたみかけたいバディーだったが、25分にアローズが右サイドでフリーキックを獲得。キッカーはここまで2得点を挙げている木村選手。やや距離のある位置からゴール前へ送り込むと、キーパーとアローズの選手が飛び込む。飛び込んだ選手はボールに触れなかったが、その選手がブラインドになりキーパーも触れず、ボールはそのままゴールへと吸い込まれた。木村選手はハットトリックを達成。

追いつきたいバディーはサイドから攻撃を仕掛ける。26分、中央から右サイドでパスを受けた25番吉野選手がすばらしいワンタッチでディフェンスを抜き去り、サイドを駆け上がってセントリング。しかしこれはアローズディフェンスがクリア。27分には左サイドペナルティエリア後方からフリーキックを獲得。直接ゴールを狙うもキーパー正面へ。

そのままスコアは動かずタイムアップとなり、FCアローズが悲願の初優勝を飾った。

ゲームを通して、両チームとも勝ちたいという気持ちのこもったプレーが随所に見られる好ゲームだった。バディーは2番新井選手がゲームメーカーとしてボールをさばき、ドリブルとパスでサイドから組み立てたり、タテパスを織り交ぜながらチャンスをうかがった。アローズはセンターバックの7番加野選手を中心に守備陣がブロックを張ってしっかりと守り、そこから11番木村選手が攻撃をけん引し、タテに速いサッカーを仕掛けていた。両チームの特徴が出た決勝戦にふさわしいゲームとなった。また、これからの選手たちの更なる成長が楽しみになる決勝戦だった。

戦評担当 アローズ・オレンジ 加藤